

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)					
評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用)		文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていないが必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。			
事業計画(指定管理者から当初に提出)	平成27年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成28年度予定	
1. 事業計画による施設の運営が市民の平等な利用を確保するものであること					
・市民の平等な利用を確保できる取り組みとなっているか		○	○		
①音響機器を大音量で流すなど、他の利用者に迷惑になるような行為は禁止する。	実施できた	当初の事業計画通り概ね実施した。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定	
②届出が必要な各スペースの利用時間は、概ね2時間程度とする。	実施できた			昨年度通り実施する予定	
③他のスペースの利用においても、他の利用者の迷惑にならないような配慮を促す。	配慮できた			昨年度通り実施する予定	
④使った資料・器具は、使用後元に戻すよう義務付ける。	概ね実施できた			昨年度通り実施する予定	
⑤上記の注意事項を文章にして、見えやすいところに掲示する。	実施できた			昨年度通り実施する予定	
⑥スタッフは、全体の雰囲気や配慮し、施設利用者相互の譲り合いができるように努め、そのための研修を行う。	とりたてて研修はしていないが、実施できている			昨年度通り実施する予定	
・高齢者や障がい者に対する配慮がなされているか		○	○		
①出入口や通路に障害物を置かない等、車椅子での安全な移動を確保する。	概ね実施できた	当初の事業計画通り概ね実施した。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定	
②館内の施設・備品の転倒防止など事故防止に心がける。	棚の転倒防止伸縮棒を設置するなど実施できた			昨年度通り実施する予定	
③入り口に、手すり・点字ブロックなどの設備を明示した案内板を表示する。	実施できた			昨年度通り実施する予定	
④案内窓口には筆記によるセンターの案内も出来る事を明示する。	実施できた			昨年度通り実施する予定	
⑤介助者が必要と思われる場合、介助が必要かどうかを尋ね、可能な介助を行う。また、必要に応じて周りの利用者にも協力を求める。	介助者が必要なケースは特に見られなかった			必要に応じて予定通り実施する	
⑥手話通訳者やガイドヘルパーなどの有資格者によるセンター案内ボランティアを募り、協力を求める。	スタッフで手話研修を実施した			スタッフのスキルアップを目指す	
⑦スタッフは利用者に対して丁寧に接客し、高齢者や障がい者が利用しやすい施設であることを心がける。	実施できた			昨年度通り実施する予定	
⑧スタッフは、手話や視覚障がい者への手引など、障がい者がセンターを利用するのに必要な介護研修をうけるなど、接客能力の向上に努める。	ステップアップ研修として手話研修を実施した			昨年度通り実施する予定	
2. 事業計画の内容が、施設の目的を効果的に達成できるものであること					
・施設の設置目的に整合した効果的な運営になっているか		○	○		
①ボランティア・市民公益活動団体に、施設の案内をお知らせするとともに利用を呼びかける。	ホームページ、フェイスブックや郵便物で実施した	昨年度に引き続き、市内の福祉施設等にボランティアに関するアンケート調査を行い、更に今年度は企業にもアンケートを実施した。企業ボランティアの情報提供を一歩らざだより等で紹介した。また、ボランティアフェスティバルでの交流を始め、河内長野市社会福祉協議会、河内長野市文化振興財団とは定期的な会合を開始した。	情報の収集、提供については、新たな企業へのアンケートの実施や、自治会ハンドブックへの掲載内容の充実等、一歩らざの周知拡大を図る取り組みがなされた。また、市社会福祉協議会や、くろまる塾との連携強化を図るため、定期的な会議の開催など、新たな取り組みの工夫も見られた。	昨年度通り実施する予定	
②市内の自治会に、案内を送り、各地にどんな活動団体・個人がいるのか、又どんな活動をしているのかを知ってもらい、相互協力の拠点の一つにしよう。	市役所を通して利用案内を送付した			昨年度通り実施する予定	
③市内の各保育園・幼稚園・小学校・中学校のPTAに案内し、情報交換と交流の場にしてもらう。また、高等学校・専門学校・大学に、PTAのみならず、生徒会・自治会・サークルにも案内し、利用を促す。	主だった教育施設、学校にはガイドブックや一歩らざだよりを送付した			昨年度通り実施する予定	
④市内の青少年育成団体連絡会に案内を送り、市内の様々なボランティア・市民公益活動団体との連携を進める。	ガイドブックを始めとした案内の送付を実施した			昨年度通り実施する予定	
⑤商工会、商店会等に案内を行い、企業のボランティア活動の紹介の場として利用してもらうとともに、ボランティア支援活動を促す。	情報を提供し、市商連のニュースには困り欄で団体紹介した			昨年度通り実施する予定	
⑥市内のNPO法人や、社会福祉法人、医療法人などの公益活動法人に案内を送り、他の市民団体とより協働できるよう働きかける。	実施できた			昨年度通り実施する予定	
⑦幅広いラウンドテーブルを定期的に開催し、情報交換の場として定着を図る。	新たにテーマを決める等工夫して実施した			企業の社会貢献活動の紹介等をよりすすめた場をめざす	
⑧「自分たちも団体を立ち上げたい」という方や、「連絡先が公表できない」等で悩んでいる方に、助成金制度や支援システムなどを紹介すると共に、2階の貸事務ブースや、貸ロッカーの活用をすすめる。	新しい利用には結びついていないが、適宜声掛けしている			昨年度通り実施する予定	
・利用者の要望を反映できる取り組みとなっているか		○	○		
①案内窓口アンケート用紙・目安箱を配置する。センター管理上で改善すべきところは市との協議のもと改善し、それを掲示板にて公表する。	特に改善点はなかったが、アンケート等実施した	当初の事業計画通り概ね実施した。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定	
②利用者相互に関わることにについては、個人攻撃にならない事を配慮して公表し、利用者自身の積極的な関わりを求める。	特に事案はなかった			必要に応じて予定通り実施する	
・利用者の苦情に対応できる取り組みとなっているか		○	○		
①利用者の苦情がでないようにスタッフによる自己点検、相互点検のミーティングを重ねる。	月一回の定期会議と、引継ぎでのミーティング実施	協働懇談会に参加すると共に、河内長野市市民協働課との定期的な調整会議を実施した。	市とは調整会議のみならず、必要に応じての情報交換や、指示等についても適宜行い、即対応ができていた。	昨年度通り実施する予定	
②第三者の意見を聞き市当局との協議の上で、問題点を速やかに改善を図る。また、必要に応じて公表する。	実施できた			昨年度通り実施する予定	
・施設の利用を促進できるような取り組みとなっているか		○	○		
①センターは情報提供、学習機会提供、交流促進、相談・コーディネート各部会で年間事業計画を作成し、各々の活動を通して利用促進を図る。	実施できた	市内の郵便局に一歩らざだよりの配架を依頼し周知を図った。	施設の利用総数が11,065人と前年度より増加し、様々な団体の利用や交流の促進が図られた。	昨年度通り実施する予定	
②情報誌「一歩らざだより」の内容の充実を図り、個人にも渡せるよう発行部数と配布対象を広げる。インターネットでは様々な活動を紹介するとともに、センターに対する掲示板を創設する。	情報紙の発行部数を大幅に拡大した。インターネットではホームページ掲示板は創設していないが、フェイスブックを活用している			昨年度通り実施する予定	
③センターの職員、スタッフには接客、応接等の定期的な研修を行い、利用者の立場に立った運営を行う。	月一回のスタッフ会議で適宜研修を実施した			昨年度通り実施する予定	

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)

評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用)		文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていないが必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。			
事業計画(指定管理者から当初に提出)	平成27年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成28年度予定	
・サービス向上のための取り組みとなっているか		○	○		
①様々な活動を支援するという趣旨から、それぞれの団体・個人の主義主張や意見の相違を前提とし、多様な意見や立場を尊重する。	概ね実施できた	関西交流会に参加するなど情報収集を心がけることができた。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定	
②具体的な相談において、一つの方法を押し付けるのではなく、様々な選択肢を提供することが求められるため、スタッフやセンターに様々な情報を集中し、必要に応じて提供できるように整理する。	ガイドブック掲載団体を「団体かるた」というカードにし、必要に応じて相談時に提供することができた			昨年度通り実施する予定	
③センターの利用者・相談者に対して、単なる仕事の代行や請負をした場合は、個人や団体の活動を終息することにもなりかねない。自分で動き、失敗も含めた経験を積むことが市民活動の糧となる。	ボランティアのマッチングには必ず三者面談を行うなどの経験を重ねている			昨年度通り実施する予定	
④推進委員会会員及びセンタースタッフは、様々な活動を通じて常に新鮮な情報を吸収し、利用者に提供できる様心がける。	概ね実施できた			昨年度通り実施する予定	
・情報の収集及び提供事業を効果的に達成できる計画となっているか		◎	○		
①ボランティア活動紹介冊子「ガイドブック」の作成、配布	部数を拡大して実施する事ができた	全体では「吹田市市民公益活動センター」に訪問し、その他数人で「阪南市市民活動センター」にも訪問した。富田林市、大阪狭山市とは大阪大谷大学の協力を得て「南河内のつどい」を開催し、情報交換をした。また、和歌山での関西支援センター交流会にも参加した。	ボランティア活動紹介冊子や、情報誌「一ぶらざだより」の発行部数の増加、防災情報誌の発行など、広く情報提供に努めていた。今後は、情報掲載内容や発信方法等について、効果的な取り組みとなるよう検討を進めていただきたい。	昨年度通り実施する予定	
②生涯学習情報誌へのボランティア活動紹介、案内記事の掲載。	生涯学習情報誌はなくなった			昨年度通り実施する予定	
③情報誌「一ぶらざだより」の発行	部数を拡大して発行する事ができた			昨年度通り実施する予定	
④他市、他施設調査・研究	実施した			昨年度通り実施する予定	
⑤ホームページの活用(河内長野市のホームページとも連携し、市民公益活動につながる情報を効果的に提供するため登録団体を募り、団体やその活動をインターネット上で公開する。)	リニューアルする事ができた			昨年度通り実施する予定	
⑥お知らせポケット(各団体の情報をタペストリーのポケットに入れたもの)の運営	施設の都合で廃止				
・人材育成事業を効果的に達成できる計画となっているか		○	○		
①ボランティア活動入門講座の開催	実施した	アドバイザー養成講座については、業務としてのコーディネーターではなく、自らの活動の面白さを再発見し、団体の組織運営や相談に活かせる人材育成の講座になるようサポーター養成講座に名称を変更して実施した。	ボランティア活動入門講座や、ボランティア活動体験見学プログラムについて、市社会福祉協議会や、くろまる塾との連携を図るため、合同会議の開催など、新たな取り組みが図られた。	くろまる塾や社協との協働事業として実施する予定	
②ボランティア活動体験見学プログラムの開催	実施した			社協と協働して実施する予定	
③グループ運営講座の開催	会計実務講座初級と中級の間編を実施した			昨年度通り実施する予定	
④アドバイザー養成講座の開催	実施した			昨年度通り実施する予定	
⑤制度活用講座の開催	実施した			昨年度通り実施する予定	
⑥NPO団体支援講座の開催	大阪府から指定NPO制度の説明会実施			新たな動きがあれば、昨年度通り実施する予定	
・相談、助言、コーディネート事業を効果的に達成できる計画となっているか		○	○		
①センターにおいての情報提供、相談業務(有給無給に係らず、情報提供員、センタースタッフは市民公益活動の相談・助言ができる者とし、相談窓口を設置し対応する。)	概ね実施した	当初の事業計画通り概ね実施した。	当初の事業計画通り実施できていた。また、ボランティアの提供側と要請側のマッチング支援や、企業へのアンケートを実施し、企業の社会貢献活動等の情報提供を行うなど、新たな取り組みも進んでいる。今後においても、研修や講座で学んだスキル等を活かし、中間支援組織としての機能を発揮していただきたい。	昨年度通り実施する予定	
②他施設におけるボランティア市民活動情報提供コーナーの運営	他施設利用できず、実施できなかった			にぎわいプラザで実施予定	
③相談および情報提供員の研修	サポーター講座、ステップアップ講座として実施			昨年度通り実施する予定	
④補助金、協働提案事業、NPO立ち上げ相談(補助金、提案制度などの相談・支援、NPO法人の立ち上げ、認証申請の相談に応じる。)	概ね実施した			昨年度通り実施する予定	
⑤相談コーディネート機能強化講座開催	ボランティアコーディネーター養成講座に参加			昨年度通り実施する予定	
⑥立ち上げ支援としての情報提供(活動紹介や助成金情報、団体立ち上げに必要な情報提供に努めると共に活動拠点、連絡場所が無い場合などに対し貸事務ブース、貸ロッカーなどの情報を提供する。)	概ね実施した			昨年度通り実施する予定	
⑦生涯学習、社会福祉協議会その他中間支援組織のお互いの立場を理解し尊重しつつ情報の交換に努める	定期的な会議を開始した			具体的な展開を図る予定	
⑧個人ボランティアについて、個人情報の保護に配慮しつつ登録システムを検討する。	数少ないが登録している			昨年度通り実施する予定	
・連携及び交流促進事業を効果的に達成できる計画となっているか		◎	◎		
①「市民まつり」などへの参加し、活動紹介などを行い、広く市民に情報を提供する。	概ね実施した	河内長野市の「くろまる塾」での「ボランティア入門講座」共同開催に向けて、社会福祉協議会も含めて協力を開始した。	市社会福祉協議会や、くろまる塾などの生涯学習機能と連携強化を図るため、定期的な会議を開催し、情報共有や意見交換等、新たな取り組みの検討が行われた。また、ボランティアフェスティバルでは、参加団体が増加するなど、団体の連携、交流促進が図られた。今後においても、自治会等の地域型団体など、多様な団体の連携・交流促進を図っていただきたい。	昨年度通り実施する予定	
②「団体交流会」の開催し、活動展示、意見交換などによりそれぞれの団体活動の理解を深めネットワークの促進をはかる。	防災活動も兼ねて、「一ぶらざ祭」として実施			昨年度通り実施する予定	
③ボランティアフェスティバルの開催	おおよそ5,100人の参加があった			よりエリアを広げて実施する予定	
④ラウンドテーブル(一ぶらの集い)の開催する。また、市内小中学校校区で開催されている「まちづくり交流会」を支援する。	一ぶらの集いはテーマを決めて実施。交流会は協議会に発展、支援した			企業も巻き込んだテーブルを目指す	
⑤地域連携として自治会交流会への支援	まちづくり協議会への支援をした			昨年度通り実施する予定	
⑥市内防災活動のネットワークに参加(市の危機管理室や社会福祉協議会、自主防災団体との連携、協力にむけ検討を継続する。)	河内長野ガスも含めた産官民の連携事業として防災研修会を実施			昨年度通り実施する予定	
⑦生涯学習や社会学習に関わる団体との協力	実施した			昨年度通り実施する予定	
3. 事業計画の内容が、施設の管理に係る経費の縮減が図られるものであること					
・維持管理費の縮減を図る取り組みとなっているか		○	○		
①印刷機やコピー機等のインクや紙の消費量を減らす。倍率、印刷方法の工夫により紙消費量減らす。	概ね実施した	印刷物をカラーで低廉な印刷業者に依頼する事が増え、消費量低下につながっている。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定	
②不要になった用紙をメモ用紙として使う。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定	
③FAXやインターネットを活用し、郵便料金の節約を図る。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定	
④スタッフの私用電話の利用は禁止し、相談もできるだけ直接面接して電話料金の節約を図る。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定	
⑤整理整頓・清潔に心がけ、清掃や修繕などにかかる消耗品の出費を抑える。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定	

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)				
評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用)		文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていないが必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。		
事業計画(指定管理者から当初に提出)	平成27年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成28年度予定
・光熱水費の削減を図る取り組みとなっているか		○	○	
①使用していない場所など電気はこまめに消す。	概ね実施した	当初の事業計画通り概ね実施した。	日々、光熱水費の削減に取り組む努力が見られ、当初の計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定
②室内温度を冬19℃、夏28℃に設定するなどして節電を図る。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
③メインスイッチを汎用し、待機電力を節減する。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
④湯沸しはその都度沸かし、できるだけ電気ポットの利用を控える。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑤雨水を貯めて活用するなど、節水に努める。	雨どいのパイプが太いため実施に至っていない			新たな手段を模索
⑥職員はもとより利用者にも節電、節水を呼びかける。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑦給湯などガスの使用は、必要以上に行わない。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
・人件費の削減を図る取り組みとなっているか		○	○	
①有給の職員及びボランティアスタッフによる業務のスムーズな遂行を図る。	概ね実施した	ボランティアフェスティバル、市民まつり等大勢のスタッフが必要な時やパソコン処理などでは有給スタッフ以外にも協力を依頼した。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定
②残業や休日出勤が発生しないように努める。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
③職員やボランティアの健康と安全に配慮し、事故や怪我・疾病などによる不必要な出費を防ぐ。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
④センターの効率的な運営を図る。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
4. 事業計画に沿った施設の管理を安定して行うための十分な能力を有するものであること				
・管理運営に必要な能力を備えた職員配置、確保がなされる計画となっているか		○	○	
①センターのスタッフ並びに相談業務につく者は、推進委員会正会員で、相談業務にあたる資格要件は2年以上のボランティア・市民公益活動経験の上、アドバイザー養成講座の受講及びボランティア情報提供コーナー経験を満たしたものとす。	概ね実施した	ボランティア情報提供コーナーが廃止になったので、その経験は配慮していないが、センターの日常業務の中で必要に応じて相談(出来得る限り)対応している相談業務を一般相談とマッチング対応に分け、経験が少なくても相談対応できるようシステムを工夫した。	当初の事業計画通り実施できていた。管理運営においては、スタッフ等のそれぞれの経験や知識を活かした役割や、今後もスキルアップに向け、取り組んでいきたい。	昨年度通り実施する予定
②相談業務にあたる者は相談技能向上の為に研修を継続して行う。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
③スタッフは、作業スペース及び館内の器機の取り扱いに関して必要な研修を受けるものとする。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
④スタッフは、推進委員会での活動以上に、公共施設の管理者としての役割を自覚し、そのために必要な研修を行う。	マイナンバー制度研修など、出来得る限り必要な研修には参加した			昨年度通り実施する予定
・職員の業務能力の向上をめざした研修の計画となっているか		○	○	
①基礎研修(スタッフ全員)として、接遇・応接・人権尊重・救急救命その他命と安全に関する研修を実施する。	救急救命研修その他の研修を実施した	阪南市や橋本市など、センター長以下数名による訪問、交流を実施した。また、救急救命講座、他補助金制度に関する講座も実施した。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定
②実務研修(事務局)として、器機の取り扱い・会計処理(法人会計)・労務、社会保険に関する研修を行う。	会計処理研修を実施した			昨年度通り実施する予定
③管理者研修(理事会)として、他市町村の協働に関するセンターとの交流や研修・施設管理者としての研修を行う。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
④協働の視点から、市の出前講座を積極的に招き、スタッフ研修とする。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
・人権啓発及び個人情報保護等研修計画について、適切な取り組みとなっているか		○	○	
年1回程度、推進委員会として河内長野市が行う人権啓発及び個人情報保護等の出前講座を受講し、以後も継続して研修を行う。その上で利用者の基本的人権を尊重し、法令を遵守した管理に努める。	概ね実施した	当初の事業計画通り概ね実施した。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定
・公正採用選考人権啓発推進員選任の取り組みについて、適切な取り組みとなっているか		○	○	
職員の採用に当たっては、理事長や事務局長など主な施設管理者が人権啓発研修を受講するなどして、面接その他選考過程で人権侵害にならないよう配慮する。	概ね実施した	当初の事業計画通り概ね実施した。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定
・障がい者雇用の取り組みについて、適切な取り組みとなっているか		○	○	
職員の採用に当たっては、障がい者の能力を活かせる職種・職域を開発し、適正な人材の確保・採用に努力する。	概ね実施した	障がい者手帳保持者の雇用はしていないが、ボランティア経験を生かした高齢者雇用は実施した。	障がい者雇用には至っていないが、適正な人材の確保・採用に努めていた。	昨年度通り実施する予定
・個人情報保護について適当な考え方をもち、適切な取り組みとなっているか		○	○	
①退職後も、知り得た秘密は漏らさない。	概ね実施した	当初の事業計画通り概ね実施した。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定
②総合的なセキュリティ対策を講じる。	機械警備を外部委託			昨年度通り実施する予定
③私用でのパソコン利用、インターネットアクセスはしない。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
④第三者に使用されないよう適切な措置・管理をおこなう。	パソコンはパスワードを設定			昨年度通り実施する予定
⑤フロッピーディスクなどの記録媒体使用には注意する。	USBはノートで管理			昨年度通り実施する予定
⑥ファイル交換ソフトがインストールされたパソコンで、業務は行わない。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑦個人情報の取り扱いは、特に注意する。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑧ICカードや磁気カード等は、保管場所に注意し、適切な管理を行う。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑨パスワードを利用する場合、漏洩や盗み見などに注意し、適切な管理を行う。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
・情報公開について適当な考え方をもち、適切な取り組みとなっているか		○	○	
①業務文書の公開請求に応じることができるよう、できるだけ行った業務を文章にして残すよう心がける。	概ね実施した	当初の事業計画通り概ね実施した。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定
②会議録はそれを保管する。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
③ミーティングや引継ぎの内容は、文章にして残す。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
④そのために、業務上必要な書式を整える。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑤書類は、時期や項目等で必要な分類を行い、整理する。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定

評価基準(第2期指定管理者選定審査基準から適用)				
評価のポイント(第2期指定管理者選定審査基準から準用)		文中の「※」は添付資料を参照のこと。また、評価は、◎十分に(達成、実施等)できている ○(達成、実施等)できている △(達成、実施等)できていないが必要最小限のサービスは提供できている ×(達成、実施等)できていないので改善措置を講ずる の意味。		
事業計画(指定管理者から当初に提出)	平成27年度実績(指定管理者から毎年度提出)	受託者評価と根拠	行政評価と根拠	平成28年度予定
・環境への十分な配慮がなされた取り組みとなっているか		○	○	
①経費の削減のみならず、環境への影響を鑑みて、できるだけ節電・節水、省エネに努力する。	概ね実施した	当初の事業計画通り概ね実施した。	スタッフのみならず、センターの利用者も環境保全に心がけ、当初の計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定
②印刷する紙は必要最低限に抑える。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
③車のアイドリングを禁止し、騒音防止および空気正常化に努める。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
④ゴミの分別収集に協力し、減量化をはかる。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑤館内の清潔保持に心がけ、利用者にも環境美化を呼びかける。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑥全館禁煙とする。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑦館の内外にかかわらず、近隣に迷惑になるような行為は禁止する。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
・利用者の安全を確保できる取り組みとなっているか		○	○	
①段差や階段などの箇所をわかりやすく明示する。	概ね実施した	当初の事業計画通り概ね実施した。	当初の事業計画通り実施できていた。	昨年度通り実施する予定
②通路、出入り口には物を置かない等の注意書きを貼り出し、注意を促す。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
③館内での火器の使用は禁止し、書類等も整理して保管する。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
④作業スペースの機器の利用に際しては、事故防止に努め、利用者への機器利用法を説明、注意を促す。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑤雨天時等、転倒等の事故が発生しやすいので、玄関マットを設置する。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑥擦り傷などに対応する救急箱等を設置する。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑦張り紙等で駐車場で安全確認を促し、交通事故を防止する。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑧高齢者・障害者のみならず、児童の転倒や転落にも注意する。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑨地震や火災などの災害に備えて非常出口・通路を館内に図面にして張り出し、適宜避難訓練等を行い災害に備える。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑩スタッフは年一回以上の救急救命訓練を受ける。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑪安全確保のためのマニュアルを作成し、スタッフ研修等で周知する。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
⑫緊急時の推進委員会内連絡網、および災害時の連絡網を作成し、災害発生時に備える	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
・緊急時において、適切に対応できる取り組みとなっているか		○	○	
①スタッフをはじめ推進委員は、緊急時には必要な救助を行う。	緊急事態に遭遇していないので実施していない	当初の事業計画通り概ね実施した。	緊急事態には遭遇していないが、いつでも適切に対応できるよう、訓練等を実施していた。	必要に応じて予定通り実施する
②近隣の医療機関や消防署等の行政機関との連携を図り、緊急時には適切な指示を受け協力を仰ぐ。	緊急事態に遭遇していないので実施していない			必要に応じて予定通り実施する
③常に避難経路を明示し、必要に応じて避難訓練を行う。	概ね実施した			昨年度通り実施する予定
④事故が起こった場合は必要な緊急措置を行うと共に、速やかに関係機関に連絡し指示を仰ぐ。	緊急事態に遭遇していないので実施していない			必要に応じて予定通り実施する
⑤事故の処理と再発防止のため、事後は冷静に事態を振り返り、報告文書を作成し関係機関に届け出ると共に反省会を行う。	緊急事態に遭遇していないので実施していない			必要に応じて予定通り実施する
・災害時、地域住民全体の安全を確保できる取り組みとなっているか		○	◎	
①これまでの「ボランティアフェスティバル」の際に収集した、「防災、災害時・後なにかができますか」といったアンケート結果等を活用し、活動できる個人・団体を確保する。	防災通信を発行した	当初の事業計画通り概ね実施した。	防災通信の発行や、防災まちづくり講座を全6回開催するなど、新たな取り組みが図られた。	昨年度通り実施する予定
②行政との連携を基に必要な情報伝達や救援活動を支援する。	防災通信を発行した			昨年度通り実施する予定
③これまでの危機管理室等との調整を基に連携づくりに努める。	産官民連携が続いている			昨年度通り実施する予定

コメント	<p>概ね予定していた事業は実施する事ができた。とりわけ協働と連携の分野においては、河内長野市はもとより、ボランティア入門講座をめぐって河内長野市文化振興財団、河内長野市社会福祉協議会との定期的な会合を開始する事ができた。長野ガスを始めとした企業の社会貢献活動との連携に続いて多分野との協働が進んでいる。また、「南河内のつどい」では大阪大谷大学の協力を得て、富田林、大阪狭山市も含めた広域連携も進んでいる。</p>
コメント	<p>今年度は、新たな取り組み等を検討するため、組織間の連携強化を図るなど、多大な成果を上げたと評価している。ボランティア・市民活動フェスティバルでの参加団体の増加など、団体間の連携も深まり、交流促進が図られていると思われる。また、企業ボランティアの促進など、新たな取り組みも検討された。平成28年度からは第3期の指定管理期間となることから、これまでの取り組みを活かしつつ、テーマ型組織と地域型組織への支援を充実させ、また、現スタッフの方の経験や知識を活かすとともに、若い世代などの新たな人材発掘等、スタッフ体制を整えて、より一層のセンター機能の充実を図っていただきたい。</p>